

◆御奉賛のお願い◆

笠間稻荷神社の御本殿は江戸時代末期の建築で、彩色の施しがなく素木造りですが、装飾彫刻がふんだんに用いられており、昭和六十三年一月十三日に国の重要文化財に指定されました。造営時より幾多の自然災害等にも耐え、都度修繕を加えながら、御崇敬者皆様の信仰の場として今日までその姿を護持してまいりました。

令和三年十月、御本殿軒下に水染みが発見されたため、公益財団法人文化財建造物保存技術協会に調査を依頼しました。調査の結果、現状の本瓦形銅板葺は江戸時代に遡るものとみられ、経年による欠失や破損から雨水の浸水、浸水による腐れ等が生じており、御本殿屋根の全面的な修繕工事が必要であるとの判断に至りました。

従いましては、令和四年より令和七年まで「重要文化財笠間稻荷神社本殿保存修理工事」の工事期間(予定)とし、御崇敬者の皆様より広く御浄財を仰ぎ、事業を進めて参りたいと存じます。神職ならびに関係者一同、笠間稻荷神社の護持運営のため引き続き神明奉仕を重ね、稻荷大神様の御恩頼に応之一層の御加護を戴けますよう諸事努めて参る所存でございますので、御崇敬者の皆様には何卒格別の御高配をもって御賛同御奉賛賜りますようお願い申し上げます。

◆重要文化財笠間稻荷神社本殿保存修理工事 御奉賛募集について◆

一、事業概要 総事業費 約壱億五千萬円

工事期間 令和四年十二月より令和七年三月(予定)

主な計画内容

- ・建物に仮屋根を掛け、現状の本瓦形銅板葺及び土居葺、野地の解体
- ・外陣北面軒廻り及び向拝唐破風廻りの軒付、野地、土居葺を復旧
- ・屋根面の黒色塗料の既存塗膜の成分分析し在来の仕様で復旧
- ・屋根廻りの金具を一旦取り外し、欠失部分を補足し箔押しを復旧

他 各所修繕復旧

一、奉賛金目標額 約七千万円

- ・奉賛金はお気持ちにてお納め願います。(金額・回数に制限はございません)
 - ・分納も承りますので神社までご連絡ください。
 - ・尚、分納は令和七年三月末日までにお納め願います。
 - ・奉賛金は適当な方法をもってご送金ください。(社頭受付/振込/現金書留)
- ※振込をご利用の方は下記の金融機関にお振込をお願い致します。

お手数ですがお振込後には必ず神社まで電話またはメールにてご一報ください。
なおメールの方は、住所・氏名・電話番号・奉賛金額を明記の上送信願います。

一、御奉賛に対する待遇

- ・御奉賛者の皆様には御神前にて御芳名を御奉告申し上げます。
- ・御奉賛者の皆様には種別により感謝状・記念品等を贈呈いたします。
- ・高額御奉賛を賜りました方には追ってご返礼のご案内を申し上げます。

一、御奉賛関係お問い合わせ先

〒三〇九―一六一―茨城県笠間市笠間一番地 笠間稻荷神社

電話 … 〇二九六(七三)〇〇〇一

メール : kasamaIoyane@gmail.com



笠間稻荷神社社務所

取扱銀行	常陽銀行	笠間支店
口座名義	宗教法人笠間稻荷神社	シュウカサマイナリソウジャ
口座種別	普通預金	店番 041
口座番号	1585530	
※振込手数料は各自ご負担願います		